

目黒労協 2022目黒労協夏季闘ニュース

No.22-08 2022年7月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net

「最賃上げる！」は、大きな世論に

6月18日(土)、めぐろユニオン例会前に学芸大学駅宣伝。最低賃金を引き上げよう！と、新音源・ボードを活用し、3人で200個ほどのチラシ入りティッシュを配布。通行する人たちの受取は良好、参議院戦況を前に、各政党・与野党ともに最低賃金の引上げを求めている。今まで以上に最低賃金が話題になっている中で、しっかり1時間宣伝し、ユニオンの定例会議に。

(めぐろユニオン/通信員)



目黒労協 中央最賃審議会に意見書

今年・10月からの最低賃金の決める「22年中央最低賃金審議会」が、6月28日より始まることを受け、東京春闘共闘で「意見書」提出にあたり、各単産・地域組織にも「意見書」提出の要請がありました。これを受け目黒労協でも議論し、「意見書」を提出しましたので紹介します。

中央最低賃金審議会御中

2022年6月21日

目黒地区労働組合協議会 議長 井上 晴雄

最低賃金大幅引き上げと、最低賃金決定への最低賃金周辺で働く者の参加、審議の公開を求めます

- 1、最低賃金(以下「最賃」)大幅引き上げが必要です。日本の賃金は21世紀になって上がっていません。特に大企業は莫大な内部留保をため込んでいますが賃金は上昇していません。これは雇用破壊：非正規低賃金労働者の大幅な増加によるものです。正社員も「なんちゃって正社員」といわれる無権利・長時間過重労働にさらされています。さらに2020年以降、コロナ禍により非正規労働者は職を失い、労働人口そのものが大幅に減少(2年間で26万人減少)、暮らしていけない状況です。
- 2、コロナ過だからこそ各国は最賃を引き上げています。

最新の状況では、 ・英：9.5ポンド=1568円 2022年4月～

・独：10.45ユーロ=1481円 2022年7月～ ・仏：10.57ユーロ=1498円 2022年1月～

・豪：豪ドル=2002円 2022年7月～ ・韓：14640ウォン=1530円 2022年1月～ など。

ロシアのウクライナ侵攻以降の全世界的な物価上昇に、今後も各国の賃金・最賃引き上げは続きます。最賃引き上げが失業者の増加を招くなどの主張は、この各国の政策を見れば完全に破綻しており、減税や社会保障の拡充とともに最賃の大幅な引き上げが経済再生の最も重要な方策の一つであることは明白です。

3、 最低賃金法の改正を含め抜本的な変革が必要です。

- ① 生計費原則の観点からすれば、生活保護給付水準の比較が若年単身者で行われていることは不適切です。膨大に膨らんだ非正規低賃金労働者はすでに家計補助パートでも、学生アルバイトだけでもない、シングルマザーや就職氷河期世代など扶養家族・家計を支える労働者が多数含まれます。家族の生計を支えられる最低賃金へ、生活保護基準も有扶養家族モデルに切り替えるべきです。
- ② 最賃が影響する労働者は、すでに全労働者の4分の1となっています。最賃の引き上げが全労働者の賃上げ数値を支えており、いわゆる正規大企業労働者の春闘などの賃上げを最賃に反映させるのでは不十分です。国と経済の在り方から最賃を引き上げることで、賃金水準全体を引き上げることが必要です。
- ③ 個々の企業内での賃金引き上げとは次元を異にする最賃の引き上げにあたって、経営側の支払い能力は問題にすべきではありません。最賃を保証するための社会保険料や税の減免などの経営支援や、直接的な所得給付も含め経済政策として対応すべきです。

以上のような観点から、現行最低賃金法の抜本的改正を含め、労働者・経営者・国の協議による最賃水準の決定とそれを支える諸政策の構築を図る仕組みが必要です。その際に最も重要な点は、残念ながら企業内労働組合組織ともつながっていない最賃近傍で働く労働者の声を当事者として反映させる最賃決定の仕組みです。また最賃の目標とする水準を、「全労働者の中位賃金額の60%以上」(EU指令案)など国の政策の基本として定め、その実現に向け労・使・国ともに努力する体制が必要です。

4. 貴審議会の抜本的な出直しを求めます。

この1年間、目安制度の見直しのための全員協議会に取組まれた貴審議会は、審議内容が公開されていませんので、その努力をうかがい知ることができませんが、何ら成果を生み出せませんでした。国の政策的な最賃引き上げ要請に対して、労使が争うことで終始したようにみえます。限界点に来ている現行目安制度にたいして政府と協議し、法改正を含む制度変革をリードすることはできないのでしょうか。情報公開のもとにその取り組みを行えないのであれば、すでに貴審議会は存在理由を失うものと考えます。まずは抜本的な最賃の大幅引き上げと、今後の最賃決定の仕組みについての提案を求めます。

以上

争議支援の取組み

6月3日東京国際福祉専門学校争議 怒りと光のパレード ⇒

新宿東口アルタ前集合。私教連委員長、新宿労連議長、守る会、当該と、次々発言。解雇争議勝利、復帰するも、パワハラ差別、そして学校の閉校で2度目の解雇と闘っています。卒業生のアイデアで、光り物多数を身につけて、18:30パレード出発。大ガードをくぐり、西口へ。京王デパート前でUターン、都電線路後の公園で解散。50名弱の参加で19:00終了でした。(めぐろユニオン/通信員)

6月22日 JMITU 金属反合 日本 IBM 本社前集会 ⇒

第285回 JMITU 金属反合=JMITU傘下の争議組合を皆で支える取組み。今回は常連のIBMと委員長解雇争議と闘う三和機材。目黒からもJMITU目黒地域支部などから複数参加。集会の司会も務めました。

(JMITU 目黒支部/通信員)



9の日宣伝：平和を訴える

毎月9日の取組み、6月も9日(木)に学芸大学駅で9の日宣伝行動。
約20名で、憲法9条を守ろう！核兵器廃絶を訴えました。
(めぐろユニオン/通信員)



東京土建目黒支部「住宅デー」開催 地元建設職人が奉仕する「無料の住まいの何でも相談会」

2019年以来5年ぶりとなる、全都で行われている住宅デーが、6月5日(日)に目黒でも開催されました。消毒・検温などのコロナ対策や、テントを設けるなどの雨対策が万全とはいかないまでも、「今回はやってみよう！」と堅い決意で臨みました。催し物の伝統的な「包丁研ぎ」や「まな板削り」など、建設職人ならではの出し物と、全建総連・教育委員会・国交省の後援で、担い手不足解消を考えた子ども向け工作教室は、ユーチューブ配



信による取組みなど、屋外でも密にならずにできることを工夫して実施したことも、大きな特徴です。以前のようなお祭りに近い、盛りだくさんの催しはできなくても、参加されたみなさんに喜んでいただけたことは、コロナ禍でいろいろ制限されてしまった生活や活動を、一掃するきっかけになれば良いかなあ、と思いました。

(土建目黒支部/通信員)

スッと訪問、楽しく対話、ドバッと加入書 土建目黒支部、「春の拡大」で目標達成

5月30日(月)、八芳園にて東京土建目黒支部春の拡大月間打ち上げを開催しました。全体67人が参加し、多くの初参加者・新加入者が参加しました。感染対策を徹底し、テーブルにはアクリル板が敷かれ、食事一品ずつ蓋付きの器に入っています。「春の拡大」では、支部独自で設けた7%・141人という大きな目標を達成することが出来ました。区内在住の建設業従事者が減って行く中、仲間を増やす事が出来ているのは、組織強化を重ね、意志・意識が同じ方向を向いていること、そして共闘団体のご協力あってこそその成果です。「年間拡大」に向け、引き続き頑張ります。(土建目黒支部/通信員)

